

## 測量 全国大会へ

### 県学校農業クラブ測量競技大会

7月13日(木)に阿久根市総合グラウンドと本校を会場に県学校農業クラブ連盟測量競技大会が開催され、総合学科環境緑地系列のメンバー8人が参加しました。

4月から系列の勉強を始めたにもかかわらず、わずか3か月で他校の3年生に圧倒的な差をつけて鶴翔高校が最優秀賞(1位)・優秀賞(2位)になりました。

最優秀チームは10月25日に松山市(愛媛県)で開催される全国大会に出場します。

	氏名	学年	出身中
鶴翔 B (最優秀賞)	山口 恭兵	2年	野田
	馬見新 翔	2年	阿久根
	森田 考貴	2年	野田
	西野 大輝	2年	川内中央
鶴翔 A (優秀賞)	折橋 勇太	2年	阿久根
	黒永 麻衣子	2年	三笠
	永里 剛城	2年	面縄
	與島 天史	2年	阿久根

## 優勝目指してクラスで団結

### 1学期クラスマッチ

7月19日(水)にクラスマッチがありました。今回は男子がサッカーと卓球を、女子がバレーボールと卓球を行い、クラスのみならず力をあわせて優勝を目指して奮闘していました。



## 就職するってどんなこと?

鶴翔高校では、「産業社会と人間」(総合学科)、及び「総合的な学習の時間」(農業科学科・食品技術科)の時間を利用して1年生に働くことの意義など、職業人による講話を実施しています。今年度の1回目として、7月6日(木)に、鮫島一正氏(鮫島社会保険労務士事務所)から、働くこととはどういうことかについて、講話があり、生徒は真剣に耳を傾けていました。



## お世話になっている街をきれいに

期末考査の最終日である7月4日(火)に『地域貢献の日』ということで、阿久根駅の周辺・駅から学校までの通学路や、部活動で利用している市営陸上競技場や市営球場付近のゴミや空き缶などを拾ってまわりました。



## 鶴翔生もボランティアに参加

7月23日(日)までに降り続いた雨により鹿児島県でも北部を中心に各地に大きな被害がありました。

鶴翔でも、多くの生徒がボランティアとして出水市や阿久根市の脇本海岸などの復旧活動に参加しました。

# 鶴翔生だより

「潮の風 vol2」(第4号 第2面)

## 鶴翔高等学校

挑戦・感動そして愛



〒899-1611 阿久根市赤瀬川 1800

TEL 0996-72-7310 FAX 0996-72-7320

Eメール shinsetsu.hs-a.n@sunny.ocn.ne.jp

URL <http://jns.ixla.jp/users/hhiittoonn513>

## 鶴翔高校は2歳になりました

7月1日創立記念日

鶴翔高校は平成16年7月1日に県立高校として設置されてから、2周年となりました。このことを記念して、7月4日(火)に、鹿児島を中心に活躍されている女優のたぬきさんを講師として招き、鶴翔高校のスクールモットー(校訓)である「挑戦・感動そして愛」をテーマにして、一人芝居を交えながら生徒にエールを送っていただきました。



< 創立記念講演の感想 >

### 今に生きる幸せ、おもいやりの大切さ

この講演会は、本当に感動しました。

私たちが普段学校に来て勉強しているのも、ご飯を食べることができるのもこうして生きているのも、戦争時代と比べるととても幸せなんだなあと思いました。この講演で、「命」や「おもいやり」ということを改めて考えさせられました。

梶 歩美(2年・野田中出身)

### 不必要な人間なんていない

たぬきさんの演技力はすごいものがありました。たぬきさんの演技によって命の大切さを重く実感しました。不必要な人間なんていない。みんな大切だと思います。きっとどこかに自分を必要としてくれる人がいるので、強く生きていきたいです。

山内 晴美(2年・長島中出身)



### 命の大切さ...

ひとり芝居というものを初めてみました。たったひとりだけで全てをこなし、たったひとりだけで舞台にたつというのは、想像する以上にプレッシャーになるはずですが、それを少しも感じさせることなく、役になりきり、舞台上で人々を感動させるというのは本当に素晴らしいことだと心から思いました。

たぬきさんが私たちに伝えたい「命の大切さ」を改めて気付かされました。

家村 大城(2年・川内南中出身)

### 8月の主な予定

- 4日(金) オープンキャンパス
- 9日(水) 小型クレーン講習会(～11日)
- 17日(木) 後期夏ゼミ(～28日)
- 23日(水) チェーンソー講習会
- 24日(木) 芝刈機講習会

編集後記



今回の豪雨により、7月29日(土)に予定されていたみどこい祭りが中止になりました。このみどこい祭りには、鶴翔高校として生徒や職員約130人のはんや連が参加することになっていました。

今後、この水害から立ち直ったときに気持ちよく踊ることができるように、北薩地域の早い復興を期待したいものです。

鶴翔高校・広報渉外部